

ニッポン・ニュー・マーケット 「ヘラクレス」

平成 21 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名：株式会社 fonfun  
代表者名：代表取締役社長 三浦 浩之  
（コード番号 2323）  
問合せ先：取締役兼専務執行役員 佐藤 充  
（TEL 03-5350-7800）

株式会社光通信との資本・業務提携及び合併会社設立に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 10 月 30 日開催の取締役会において、株式会社光通信（以下、「光通信」という）との間で、弊社サービス「リモートメール」拡販のための資本・業務提携を行い、合併会社（以下、「新会社」という）を設立することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 業務提携の理由

fonfun の主力サービスである『リモートメール』は、4 キャリア（i-mode、EZ web、Yahoo!ケータイ、AIR-EDGE）の公式サービスとして提供している携帯向けのメール送受信サービスです。1999 年にスタートして 10 年になりますが、2002 年以降ユーザー数の伸び悩みが続いていました。これまでの販促手段としては、デジタルアフィリエイトが主流でしたが、今年に入り本格的に開始した携帯電話販売店における店頭販促（リアルアフィリエイト）が好調であり、直近数ヶ月は増加に転じています。

株式会社光通信は、店頭販促で最も実績を上げている企業です。同社と資本提携を含む業務提携という強い関係を結び、さらに合併会社として両社から人材を提供することで、同社の営業力と当社のサービス開発力を活かし、両社共同で店頭でのサービス加入者獲得をより一層拡大させます。

2 業務提携の内容

「リモートメール」は、サブアドレスの提供をはじめ、プロバイダーや会社のメールを携帯電話で送受信できる機能やデコレーションメールなどに対応した携帯メールの総合サービスです。日常生活のなかで便利に活用できるサービスであるため、一般的な携帯電話用のサービスに比べて利用継続率が高くなっています。本提携により新会社を通じて、このリモートメールの特性を活かしつつ、光通信グループの携帯販売網からのマーケティング情報を踏まえて、「リモートメール」を中心とした総合ツールサービスを新たに開発し、光通信グループの携帯電話販売店網及び法人営業部隊を通じて、個人及び法人向けに販売をします。この為、当社は主にサービス開発を行い、合併会社は主に店頭販促

の為のマーケティングの役割を担います。

光通信の携帯通信会社との強力な関係を活かして、個人向けを毎月 50,000 件、法人向けを毎月 5,000 件の獲得を目指します。

### 3 資本提携の内容

- (1) 両社の利害関係を一致させることで、業務提携をより一層加速し、長期に渡り継続するため、fonfun は光通信に対して 2009 年 11 月 16 日を払込期日とする第三者割当増資を実施します。fonfun の増資前の発行済株式総数の 23.99%にあたる 515,000 株の新株発行を予定しています。
- (2) 当社と光通信は、合併会社を設立します。

新会社の名称	ファンフュージョン (Fun Fusion) (仮称)
本店所在地	未定
代表者	三浦浩之 (予定)
資本金の額	50 百万円
出資比率	当社 51%、光通信 49%
事業内容	コンテンツ販売事業、コールセンター事業
従業員数	50 名

### 4 株式会社光通信の概要

- (1) 名称 株式会社光通信
- (2) 主な事業内容 移動体通信事業、OA 機器販売事業、インターネット関連事業他
- (3) 設立年月日 昭和 63 年 2 月 5 日
- (4) 本店所在地 東京都豊島区南池袋一丁目 16 - 15
- (5) 代表者 代表取締役社長 玉村剛史
- (6) 資本金 54,259 百万円 (平成 21 年 6 月 30 日現在)
- (7) 従業員数 7,198 名 (平成 21 年 6 月 30 日現在)
- (8) 大株主構成および持株比率 (平成 21 年 3 月 31 日現在)

有限会社 光パワー	26.71%
重田 康光	22.55%
- (9) 当社との関係

人的関係	該当事項ありません。
資本関係	該当事項ありません。
取引関係	該当事項ありません。

### 5 日程

平成 21 年 10 月 30 日	取締役会
平成 21 年 11 月 16 日	fonfun 第三者割当増資払込期日

平成 21 年 12 月 1 日

合併会社にて事業開始（予定）

6 今後の見通し

本件の当期業績への影響につきましては、現時点で算定中ではありますが、提携後数ヶ月の状況を見て開示する予定であります。来期以降に関しては、本業務提携により当社の一層の収益基盤の強化につながる見込みです。

以 上